

「卒業の認定に関する方針」（ディプロマ・ポリシー）について

（建築学科）

建築学科においては、以下の資質・能力を身に付け、所定の年限在学し、かつ所定の授業科目及び単位を修得した学生に学士（工学）の学位を授与します。

- 【A】 広範な分野の教養科目を履修することにより、幅広い教養を身に付けている。
「知識・教養」, 「倫理観」
- 【B】 国際的活動の基盤として、外国語の能力を身に付けている。
「コミュニケーション力」・「説明する力」
- 【C】 建築学の基礎としての数学、物理学、化学を理解し、その応用を身に付けている。
「知識・教養」, 「論理的・批判的思考力」
- 【D】 実験及び実習を通じて、課題を解決し、その内容等を論理的に文章にまとめ、発表することができる。
「専門知識・教養」, 「論理的・批判的思考力」, 「問題解決力」, 「コミュニケーション力」,
「協働力・リーダーシップ」, 「説明する力」
- 【E】 理想的な建築環境の創出に資するための幅広い建築学の専門分野の基礎知識、倫理観、豊かな創造力を建築の基礎力として修得し、さらに将来の職として目指す分野（建築設計・計画技術者、環境・設備技術者、構造設計・構造技術者、建築材料・建築生産・施工技術者、企画・開発技術者、不動産活用に資する技術者等）に関するより高度な専門知識や技術を素養として身に付けている。
「専門的知識・技術」, 「技術管理」, 「論理的・批判的思考力」,
「問題解決力」, 「創造的思考力」
- 【F】 幅広い建築学の専門分野を網羅した体系的カリキュラムを修得することにより、建築実務における専門技術者の資格である一級建築士をめざすレベルの専門知識を身に付けている。
「専門的知識・技術」, 「技術管理」, 「論理的・批判的思考力」
- 【G】 「卒業研究・設計」科目を履修することにより、倫理観、課題探求力、論理的思考・批判能力、論理的なコミュニケーション力、問題解決力、創造的思考力などの総合力を身に付けている。